

降雪・積雪に備えましょう

雪による災害を雪害と呼びます。鳥羽市はほとんど積雪することのない非降雪地域ですが、まれに積雪を観測する場合があります。令和5年1月25日には、市内全域で10センチ前後の積雪があり、道路の凍結による一部通行止めや公共交通機関の運休・遅延が発生しました。雪に慣れていない本市では、少しの積雪でも雪害の影響が大きくなる傾向があります。突然の積雪に備え、個々の事情に合わせて冬の雪害対策に取り組みましょう。

降雪・積雪時に気を付けたいポイントや家庭でできる具体的な対策については、市ホームページに掲載しています。ぜひ、事前の備えやいざという時の参考にしてください。



令和5年1月の積雪の様子



市ホームページ
(降雪・積雪の対策をしましょう)

一人一人が備えて！
防災力UP！鳥羽

vol.152

総務課防災危機管理室

TEL 25-1118



①除雪作業は事故防止・早期発見のため2人以上で



②転倒防止のため、外出を控えましょう



③あらかじめ冬用タイヤに履き替えておきましょう



④最低3日分の食料と飲料、防寒着や毛布、スマホのバッテリーなど防災グッズを見直しましょう



⑤常備薬を備えておくとともに、処方薬が切れなよう通院スケジュールを立てましょう



先日、「子どもの発達とかかわり」という研修に参加してきました。その中で、まずは子どものことを知ることが大事だという話がありました。

普段子どもと過ごす時間の中で、忙しい時や余裕のない時ほど子どものできないことや苦手なことに目がいきがちですが、そんな時こそ、ちょっと深呼吸。子どもの気持ちに寄り添い、できることやいいところ、目を向けられる余裕が必要で、毎日近くで見ているわが子のことは、家族のことが一番よく分かっていると思います。子どもの好きなことや得意なことをできるだけたくさん書き出してみることで、改めて良さに気づくことができると思います。たったひとことの「すごいね」「できたね」が子どもにとつてどれだけ嬉しいことなのかを想像すると、当たり前になっていることをほめてあげたいという気持ち



みんなでこそだて

だっこで
ほっと

子育て支援センター

TEL 25-7225

になりますよね。

みなさん日々の家事や育児に忙しいと思いますが、自分の時間はとれていますか？子どもの笑顔のためにも、家族の笑顔のためにも、子どもを遊ばせてあげたいなと思った時だけでなく、「少し疲れたな」「誰かに話を聞いてほしいな」と思った時には、遊びの広場「だっこ」に足を運んでももらえたらと思います。また、用事がある時だけでなく、リフレッシュのためにも一時保育を活用してくださいね。

子育てするかたの心の健康が、子どもの心の安定や成長にもつながります。私たちにもそのお手伝いができれば嬉しいです。みなさんの笑顔がつながっていきますように。

